

「外国の方向け日本語ボランティア入門講座」

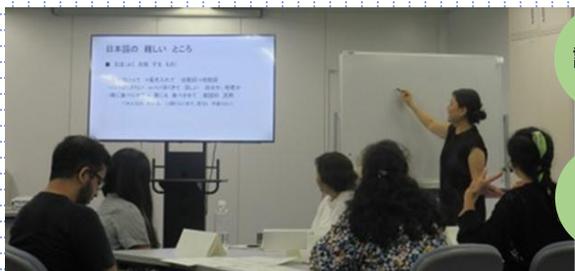
主催：(公財)横浜市国際交流協会

横浜市内には約11万人の外国の方が住んでいます。なかには、自分の日本語学習経験を活かして、日本語学習支援をしたいと思う人もいます。その方々が地域で活躍することのお手伝いとして「外国の方向け日本語ボランティア入門講座」を開催しました。

講座に参加した人たちは、在日年数が数カ月から20年以上、また、日本語学習経験も、独学で、自国で、日本語学校で、地域日本語教室などでさまざまな人たちでした。講座では、それぞれが日本語学習経験を振り返ったうえで、今度、日本語学習支援を行う立場になったとき気をつけたいことなど話し合いました。日本語学習で困ったことや理解しにくかったことなどは、互いに頷きながら話を聞いたり、発言したり、と始終和気あいあいとした雰囲気でした。

また、日本語の勉強で面白かったこと、生活に役に立ったことも共有しました。「勉強した当時、こんなアドバイスがあったらもっとよかった」「その方法はいいですね」「今の解釈は分かりやすい!」「今後の支援で活用しよう」など、積極的に意見がでて、支援に向けての意欲が見られました。

講座終了後、別途開講中の日本語ボランティア入門講座(一般コース)の受講者の方たちと、交流する機会がありました。すでに活動中の地域日本語教室の方も交え、日本語学習や日本語学習支援について意見交換を行いました。



講座の様子

講座名

外国の方向け日本語ボランティア入門講座

講師

チェ ヨンソン
崔 英善さん (大学兼任講師)

日時

2023年9月6日・20日・27日(水) 14:00-16:00

場所

第1回：八洲学園大学
第2・3回：横浜国際協力センター

対象

- ・日本語学習経験を持つ人で、日本語支援に関心がある人
- ・横浜に住んでいる人、または横浜で働いている人

参加者数

8人(のべ参加者数15人)
(中国2、ミャンマー1、台湾1、インド2、韓国1、インドネシア1)

参加者の声

- ほかの人の意見をいろいろ聞かせて頂いて、日本語のことをもっと分かるようになりました。
- 日本語使い方、外国人が理解する言葉、やさしい日本語など知りました。
- テクニカルな話だけではなく、先生ご自身の経験談、また心構えも教えて頂いてとてもよかったです。参考になりました。
- 講師のコミュニケーションスキルと学習者とのつながりやすさが素晴らしかった。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします!



「外国の方向け日本語ボランティア入門講座」

主催：(公財)横浜市国際交流協会

第1回 9/6(水) 日本語学習 支援とは？



まず、この講座に参加した理由について一言ずつ話しました。その後、講師から、自らの日本語学習経験や日本語学習支援ボランティアを始めたきっかけ、活動を行うにあたっての心得について話がありました。

また、参加者は自分の日本語学習を振り返り、日本語学習の必要性や学習のときに感じたことを話しました。たとえば、病院での言葉などは生活に欠かせないこと、学習者が会話に入りやすい環境が作れるといいこと、自分の生活経験を活かして日本に来たばかりの人へのアドバイスができること。また、学習者本人の学習意欲を高めることも忘れないようになど、日本語学習支援を意識した話もありました。

第2回 9/20(水) 理想の日本語 教室について 話し合おう！



自分が支援者になることを想定し、どんな日本語教室が理想かを話し合いました。日本語のことばや文章を勉強するだけでなく、文化や習慣がわかる教室（より早く日本の生活になじめるようになる）、自分のことが言えるようになる教室（友達を作ったり、自治会に参加できたりして、よりよい生活につながる）など、教室で学びたいことが出てきました。特に、習慣や文化の違いを知ることはよりスムーズなコミュニケーションにつながります。例えば「ダメ」といわずに「ちょっと…」という、など独特の言い回しについて、さらには、学習支援者の役割（意欲を起こさせる、質問をする、評価する）についても確認しました。

その後、支援者役になって、自分で選んだテーマで模擬授業を行いました。「雨のオノマトペ」をとりあげた人は、日本の会話では天気の話がよく出てきますが、なかでも「ポツポツ」「ザーザー」などたくさん表現があることが面白いそうです。別の人は、病院で、痛みの程度を正確に言えるようになったら、と「チクチク」などの感覚を表す言葉をテーマにしました。実生活を想定した模擬授業でした。

第3回 9/27(水) 日本語学習支 援活動をして みよう！



今回は、特に語彙の面から、難しかったところや克服したことなど、日本語の学習経験を振り返りました。また、講師から日本語の構造や文字の特徴について改めて説明がありました。文字にはかな・漢字・ローマ字があること、同音異義語があること、話し言葉と書き言葉のこと。また、最近では外国の人にも分かりやすい「やさしい日本語」が広がりつつあることなどです。そして、災害に関する言葉は、日本語学習の早い段階で伝えるといいと、アドバイスがありました。

今回も参加者による模擬授業があり、クッション言葉をテーマとした人と「すみません」をテーマにした人がいました。クッション言葉は相手との良い関係を保つためのビジネスでは欠かせない言葉で、「すみません」は、多くの意味をもちます。早い段階で知っておいた方がよいことばだと思って、取り上げたそうです。

これらのやりとりを通じて、日本語学習や生活の経験を、いろいろな場面で生かすことができる実感できたようでした。

9/29(金) 交流会へ の参加

別途開講中の、日本語ボランティア入門講座(一般コース)のプログラムに、受講者の一部が参加しました。みなさんが今後、一緒に日本語支援に取り組んでくれることに期待しています！



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama Nihongo Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

